02. 事業別情報 | セグメント概要

セグメント	事業		事業概要
ドライバルク	鉄鋼原料事業／バルクキャリア事業		鉄鋼原料（鉄鉱石、原料炭）、ボーキサイト、鉄鋼製品（鋼材）、製紙原料（木材チップ）、穀物、石炭などの大量の乾貨物をばら積み（バルク）輸送する事業です。日本向けの輸送に加え、韓国、中国、インドや中東地域のほか、大西洋水域での三国間輸送も積極的に展開し、事業領域の拡大を進めています。ドライバルク事業ユニットでは風力利用やバイオ・LNG・メタノール・アンモニア燃料など低・脱炭素化に挑戦しています。
エネルギー資源	LNG船事業		LNG船事業では、脱炭素社会への移行を支える重要なエネルギーであるLNG（液化天然ガス）の輸送サービスをグローバルに展開しています。長年培った専門知識とネットワークを活かし、長期安定契約を基盤とした安全・高品質な輸送サービスを提供するとともに、LNGバリューチェーン全体におけるお客様の多様なニーズに応えています。
	原油・LPG事業		原油・LPG事業では、原油やLPGの海上輸送を担う国内外の傭船者向けにグローバルな船主事業を展開しています。また、ブラジル沖ではドリルシップやFPSO、ガーナ沖ではFPSOが稼働し海洋エネルギー開発にも参画しています。さらに、アンモニアなど今後需要拡大が期待される次世代エネルギーの輸送にも取り組み、脱炭素社会の実現に向けた新たな輸送需要の取り込みを進めています。
	電力事業		主に国内電力会社の石炭火力発電所で使用する燃料用石炭をオーストラリアやインドネシアから輸送しています。発電用石炭輸送用に当社が独自に開発した幅広ばら積み船は石炭輸送のスタンダード船型となり、当社が有する幅広船隊「コロナシリーズ」により、電力会社の石炭輸送ニーズに安全かつ柔軟に対応するサービスを提供しています。
	CCS事業／洋上風力関連事業		ネットゼロ実現に向けた現実解の一つとして注目されるCCS。そのサプライチェーンの中で、当社は液化CO_2の海上輸送を提供しており、世界初の本格的なCCS向け液化CO_2商業輸送に積極的に参画しています。洋上風力発電支援船事業では、洋上風力発電の建設や維持に不可欠な各種の作業船・輸送船・地質調査船など、将来の環境負荷低減に貢献する事業に取り組んでいます。
製品物流	自動車船事業		1970年に日本初の自動車専用船を開発・運航開始以来、高品質な輸送サービスをグローバルに展開しています。また、多様化する輸送ニーズにあわせてHigh & Heavy（建設機械、農機、鉄道車両などの背高重量貨物）の輸送強化も図っています。2020年度より投入しているLNG燃料自動車専用船は現在14隻と年々拡大しており、環境負荷低減の顧客ニーズへの対応を推進しています。
	物流・港湾事業		"K" LINEグループ各社のノウハウとサービスネットワークを結集し、海上貨物輸送に加え航空貨物輸送、曳船、陸上輸送、倉庫事業、完成車の保管／プロセシング／輸送サービスを提供する完成車物流等、お客さまのさまざまなニーズに応える総合物流事業を展開しています。また、国内4港（東京、横浜、大阪、神戸）で自動車船ターミナルやコンテナターミナルを運営しています。
	近海・内航事業		川崎近海汽船株式会社では、鋼材やバイオマス発電所向け燃料輸送をはじめとするアジア発着の近海船、国内モーダルシフトを推進するRORO船やフェリー、鉄鋼向け石灰石専用船や電力向け石炭専用船などの内航船を運航しています。また、オフショア支援船事業は、今後の海洋開発の拡大に伴う需要増を好機と捉え、事業の着実な発展を図ります。
	コンテナ船事業		コンテナ船事業は2018年4月以降、邦船3社で設立したOcean Network Express（ONE）に統合されました。2026年3月末時点で223万TEU・282隻のコンテナ船隊を運航し、世界120ヶ国以上をカバーする充実したサービスネットワークを通じて信頼性が高く迅速な国際輸送サービスを提供しています。
その他			燃料事業、船舶管理業、旅行代理店業、不動産賃貸・管理業などを営んでいます。

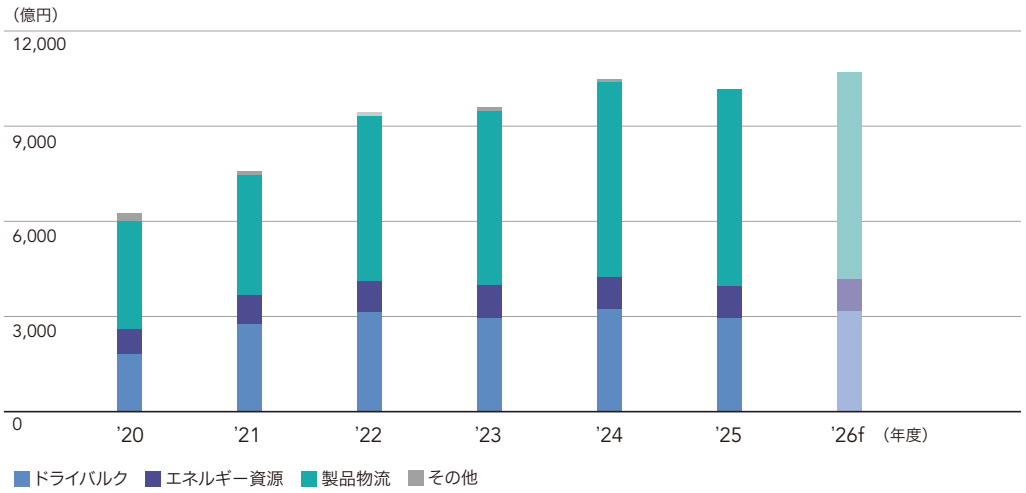
主な船型	主要貨物
ケープサイズ	鉄鉱石、原料炭、ボーキサイト
パナマックス	一般炭、鉄鉱石、穀物、塩、ニッケル、鋼材、アルミナなど
ハンディマックス	
スモールハンディ	
チップ	木材チップなど

主な船型	従事する輸送
LNG船	液化天然ガス
LNG燃料供給船	船舶用LNG燃料
液化CO_2船	液化CO_2
電力炭船	一般炭（発電用石炭）など
原油タンカー／VLCC	原油
原油タンカー／AFRAMAX	
LPG船	液化石油ガス（プロパン・ブタン）
ドリルシップ	浮体式海洋掘削装置
FPSO	浮体式石油・ガス生産貯蔵積出設備
地質調査船	海洋地質調査

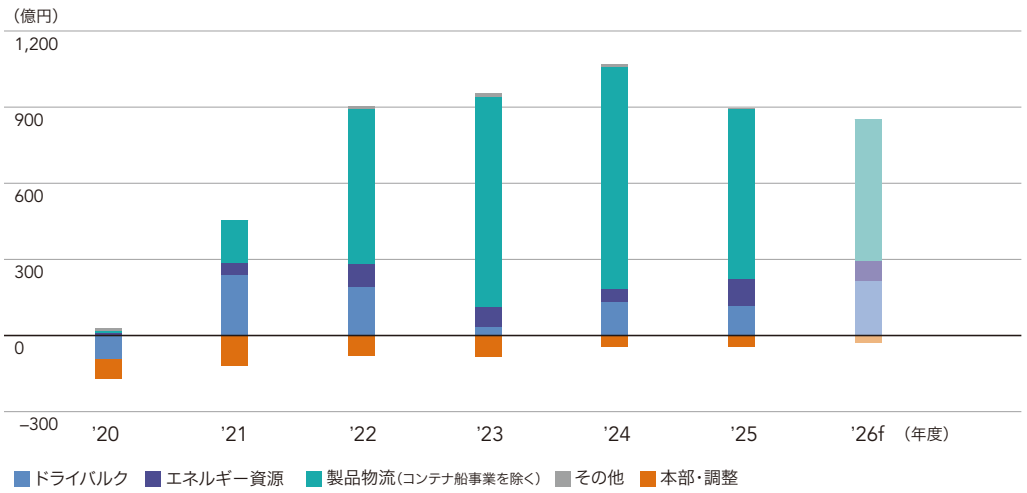
主な船型	主要貨物
自動車船	一般車両（乗用車など）、大型車両（バス・トラックなど）、重車両・建設機械・農業機械、非自走貨物など
近海・内航船 RORO船	原料炭、石灰石、鋼材、バイオマス発電燃料、紙製品、業務用食品、建設資材など
コンテナ船	日用品など一般消費財、部品など工業製品、精密機器、加工済み食品、製材済みの木材、原材料素材などドライカーゴ、冷凍食品など

02. 事業別情報 | セグメント別情報

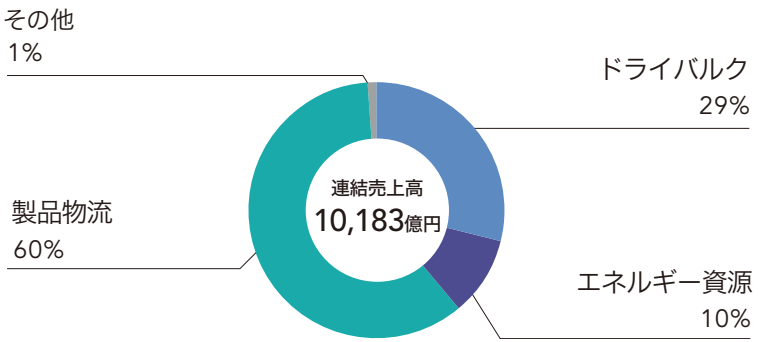
セグメント別 売上高



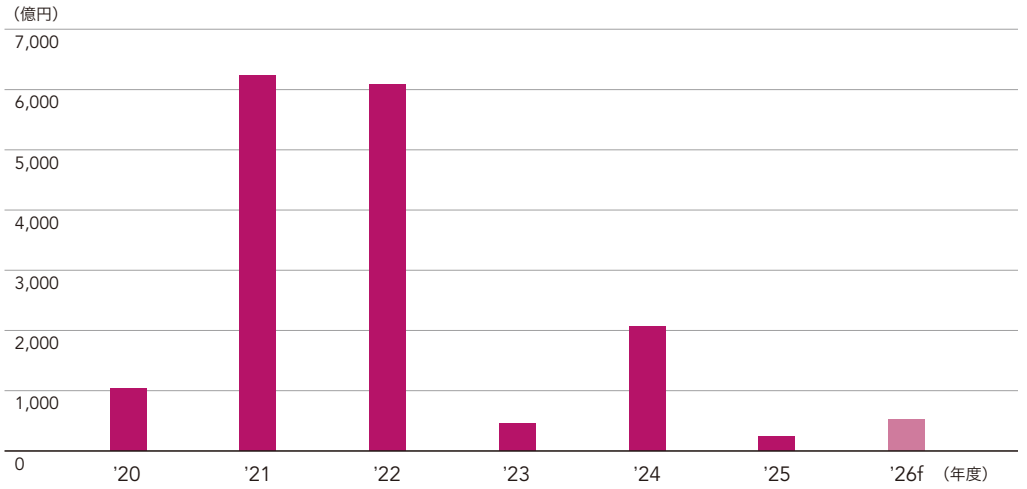
セグメント別 経常損益(自営事業)



セグメント別 売上高構成比(2025年度)



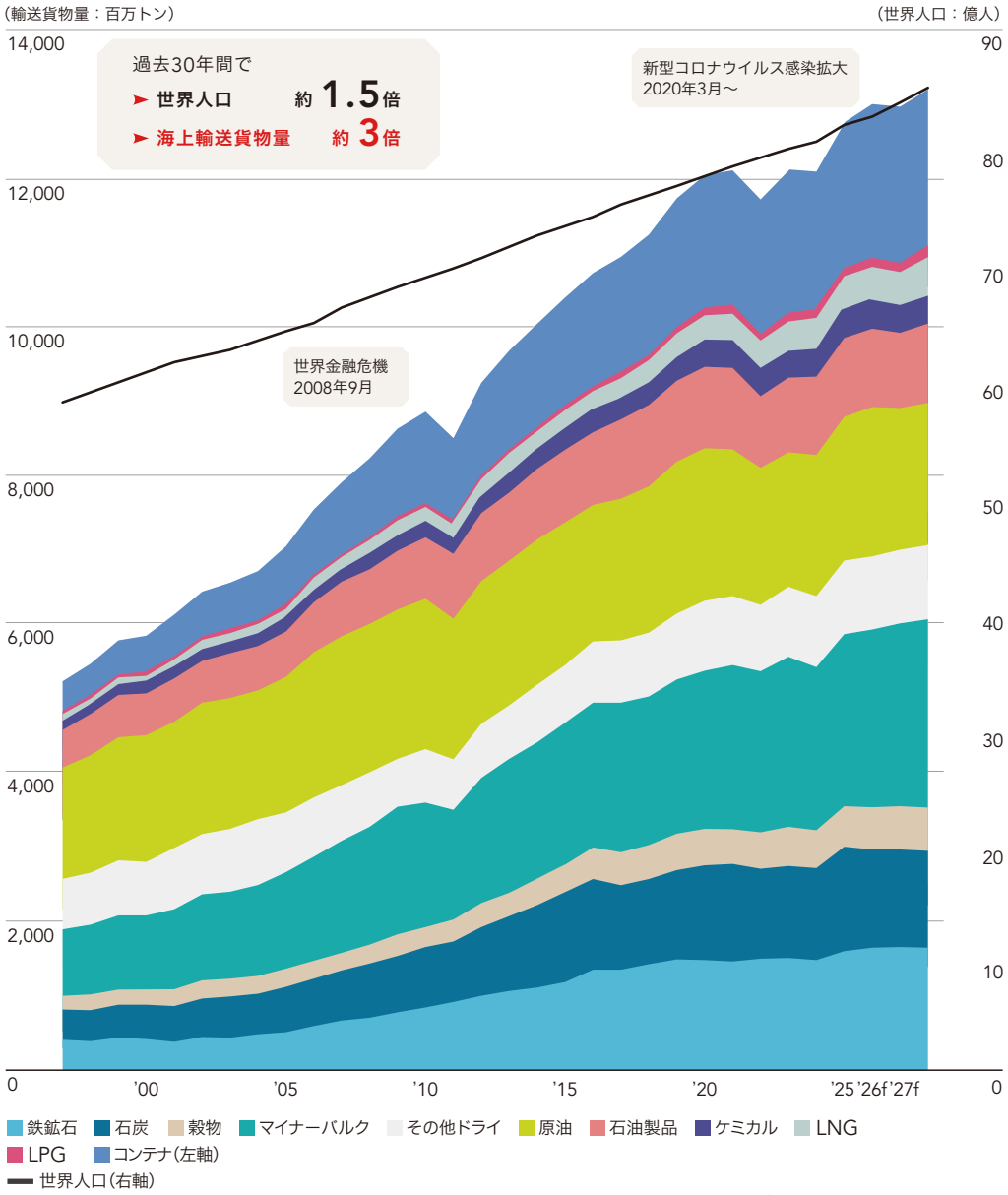
コンテナ船事業 経常損益



＊ セグメント別売上高、セグメント別経常損益(自営事業)、コンテナ船事業経常損益について次の通り
- 2026年度予想は2026年8月時点
- 2023年度に一般管理費等の配賦方法を変更しており、2022年度から遡って当該方法を適用している
- 2024年度に在外子会社等の収益及び費用の換算方法を変更しており、2023年度から遡って当該方法を適用している
- 2025年度に為替差損益の配賦手法を変更しており、2024年度から遡って当該方法を適用している

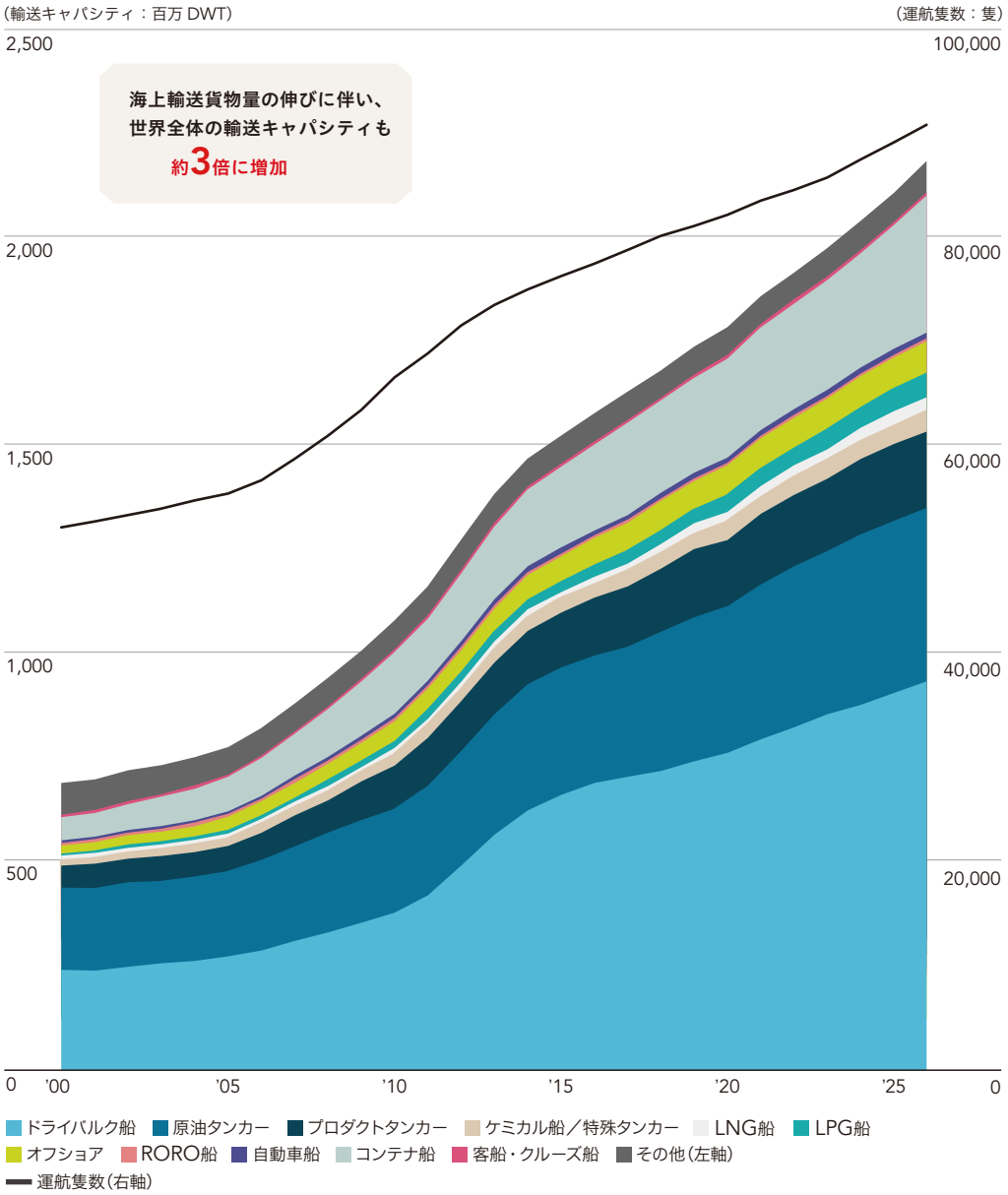
02. 事業別情報 | 世界海上荷動き・輸送キャパシティデータ

世界の主要海上輸送貨物量と世界人口



Clarksonsおよび総務省データベース他をもとに当社作成

世界全体の輸送キャパシティと運航隻数

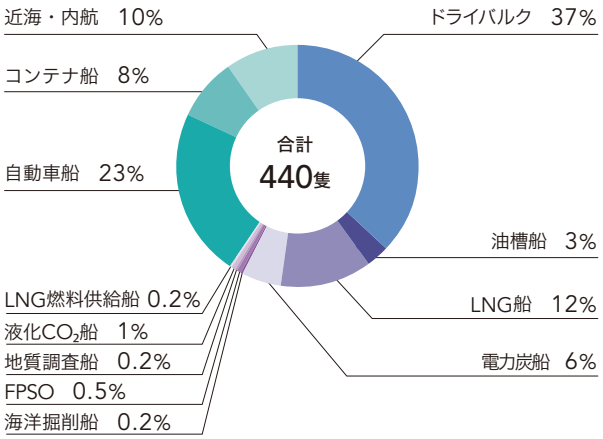


Clarksonsをもとに当社作成

02. 事業別情報 | グループ運航船舶と新造船価の推移

グループ船隊構成

（2026年3月末時点）



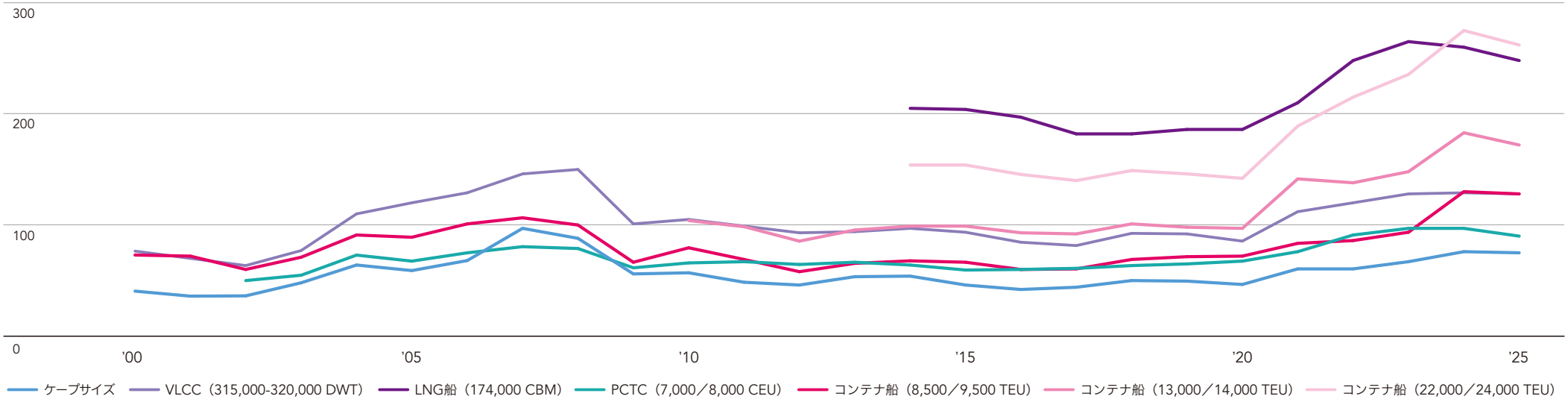
グループ運航船舶推移

	2024年3月末時点						2025年3月末時点						2026年3月末時点					
	所有船		傭船		合計		所有船		傭船		合計		所有船		傭船		合計	
船種	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン
ドライバルク	52	6,284,338	140	17,388,141	192	23,672,479	53	6,548,336	125	15,777,149	178	22,325,485	47	6,118,592	116	13,932,874	163	20,051,466
油槽船	11	2,228,808	2	108,320	13	2,337,128	11	2,228,599	2	108,320	13	2,336,919	11	2,228,599	2	108,320	13	2,336,919
LNG船	44	3,636,087	2	153,909	46	3,789,996	44	3,636,087	2	153,909	46	3,789,996	51	4,287,382	2	153,950	53	4,441,332
電力炭船	9	791,371	16	1,450,522	25	2,241,893	9	791,718	15	1,361,678	24	2,153,396	9	791,718	17	1,524,715	26	2,316,433
海洋掘削船	1	—	0	—	1	—	1	—	0	—	1	—	1	—	0	—	1	—
FPSO	1	—	0	—	1	—	2	—	0	—	2	—	2	—	0	—	2	—
地質調査船	0	—	0	—	0	—	1	3,587	0	—	1	3,587	1	3,587	0	—	1	3,587
液化CO_2船	0	—	0	—	0	—	2	20,359	0	—	2	20,359	3	30,541	0	—	3	30,541
LNG燃料供給船	1	2,431	0	—	1	2,431	1	2,431	0	—	1	2,431	1	2,431	0	—	1	2,431
自動車船	32	456,088	59	1,071,990	91	1,528,078	42	634,637	56	1,033,038	98	1,667,675	46	711,893	53	981,465	99	1,693,358
コンテナ船	11	849,856	30	2,970,195	41	3,820,051	13	1,143,606	26	2,478,747	39	3,622,353	11	1,050,785	25	2,405,835	36	3,456,620
近海・内航	23	178,484	19	167,300	42	345,784	28	310,135	15	131,591	43	441,726	28	310,135	14	118,715	42	428,850
合計	185	14,427,463	268	23,310,377	453	37,737,840	207	15,319,495	241	21,044,432	448	36,363,927	211	15,535,663	229	19,225,874	440	34,761,537

＊ 所有船の隻数は共有船を含み、重量トン数は共有船の当該船舶における他社持分を含む
＊ 基幹船隊に加え、期末時点の短期・スポット傭船を含んだ隻数

新造船価の推移

（百万USドル）



＊ コンテナ船については、2023年まではConventional Fuel、2024年からはLNG Dual Fuel

出典：Clarksons